

写真で振り返る

# 7・8月の出来事



## 7/14(水)・15(木) フレッシュ大学が小学生と一緒に下校



フレッシュ大学では、今年も喜茂別小学校1～3年生と一緒に下校する交流事業を行いました。これは、1年生を中心に交通安全に十分気を付けて下校するよう、フレッシュ大学のメンバーが地区別に分かれてそれぞれの自宅方面まで並んで歩いて下校する事業です。道々、様々な会話を楽しみながら世代間の交流も図れるとあって、人気の事業です。

## 7/20(火)鈴川小学校に交通安全旗が寄贈

鈴川小学校では、国道276号を通過する車両に交通安全を訴える啓発活動が続けてきました。その活動に活かそうと、全校の児童がそれぞれ交通安全を訴える標語を作り、その標語を織にするアイデアが持ち上がりました。このアイデアに地元の後志建設工業株式会社が協力を申し出て、全校児童10人の標語の作品をもとに作成した10本の黄色い交通安全の旗が、鈴川小学校に寄贈されました。



## 7/21(水) 老人クラブ福寿会が花壇の草取り

ふれあい福祉センター前庭花壇の草取りが、老人クラブ福寿会のみなさんによって行われました。花より背丈の伸びた雑草は想像以上に繁茂し、大変な作業となりましたが、大勢の方の参加によって、花壇は見違えるようにきれいになりました。



## 7/22(木) 中山峠道の駅で南区と合同の交通安全啓発行動

死亡事故の多い中山峠の交通事故を減らそうと、札幌市南区と合同の交通安全啓発行動が、中山峠道の駅で行われました。

この日はあいにくの天気で濃霧が峠一帯を覆い、街頭啓発行動に危険が伴うことが想定されたため、写真の森美術館内部で参加者が一堂に会し、喜茂別町、札幌市南区それぞれが、合同啓発行動の意義を再確認し、交通事故の撲滅を誓い合いました。



## 7/23(金)戦没者慰霊祭

農村環境改善センターにおいて、町が主催の戦没者追悼式が行われました。高齢化により遺族会の会員も年々少なくなる一方で、普段会う機会も減少しているせいか、互いにいたわる言葉を交わす光景が見られます。遺族会会長佐藤法也さんの「往時を知るものも少なくなった。過去のものとして、語り継いでいきたい」という追悼の辞が、参列者の胸を打ちました。



## 7/23(金)喜茂別中学校校舎お別れ式

8月18日に始まる2学期から、喜茂別中学校は旧喜茂別高等学校の校舎に移転しました。喜茂別中学校では、1学期の終業式に続き「校舎お別れ式」が行われました。式辞の中で安保法雄校長は喜茂別中学校の歴史に触れ、「本校が実質的に開校したのは昭和47年11月1日。今から38年前のことで、双葉中、鈴川中、旧喜茂別中の三校の統合中学校として、9学級278名の規模でスタートしました」と振り返り、校舎に感謝の気持ちを述べました。



## 7/26(月)トモさんのチーズ・ハーブ料理教室2010

昨年に続いて今年も、チーズ工房タカラ主催で「トモさんのチーズ・ハーブ料理教室2010」が開催されました。今年は、口蹄疫予防対策の影響で、牧場タカラを会場にできなかったため、中里地区の雪月花廊前庭で、札幌在住のハーブ料理研究家村上朋子さんによるチーズ・ハーブ料理のワークショップを行いました。地元の喜茂別だけでなく、倶知安、洞爺、大滝、札幌からも、大人と子ども合わせて25人ほどが集まり、楽しみました。



## 8/3(火)ホテルの生息環境に関する学習会



きもべつ青年交流セミナーの主催による「喜茂別町ホテル学習会」が、役場庁舎2階会議室で開催されました。町内数か所で見られるホテルの生息場所をよりよい条件のもとに保全しようという目的の事業に、北海道後志総合振興局が支援を申し出、沼田町ホテルの会会長の野道夫さんが喜茂別を訪れ、指導を受けました。ホテルの生息地3か所を実際に見学する予定でしたが、この日の夜はホテルの舞が確認されず、中止となりました。

## 8/7(土)・8(日) 定山溪温泉と連携、かっぱウィークに参加

定山溪温泉との連携事業として、今年も定山溪かっぱウィークに参加し、野菜やお菓子、手作りみそなど喜茂別の味覚を観光客や札幌市民に販売しました。今年は、地域おこし協力隊も参加し、喜茂別のPRに汗を流しました。また、野外ステージでは、定山溪小学校の定山溪太鼓や定山溪中学校のプラスバンド、厚別本陣はまなす太鼓に交じって、鈴川小学校の児童による太鼓の演奏も披露され、拍手を浴びました。



## 7/30(金) 郷の駅駐車でピヤガーデン

喜茂別商工会青年部主催のピヤガーデンが、郷の駅駐車で開催されました。初めての開催場所となる郷の駅は、地域の家族連れや職場のグループなど、開場直後から盛況です。小さな子供むけの出店にもぎわいを見せ、縁日の雰囲気会場に漂う頃、花菱会による打ち上げ花火が会場を盛り上げました。



この日に先立つ7月23日には、Aコープ駐車を会場にJAピヤガーデンも賑わいを見せました。

## 7/31(土)喜茂別FCと真駒内南サッカー少年団が交流

サッカー少年団喜茂別FCと、雪月花廊に合宿中の真駒内南サッカー少年団が、コンサドーレ札幌のコーチ深川友貴さんを指導者に迎え、喜茂別中学校のグラウンド



サッカー場で合同練習を行い、交流を深めました。はじめは少し緊張していた子どもたちもすぐに溶け込み、深川さんのスピード感とリズム感のある基礎練習や、同時に2つのボールを使って行う練習試合に、どの子どももどんどん引き込まれました。

## 8/7(土)愛和の里まつり

「愛和の里きもべつ」が市街地に移転して10年目を迎え、愛和の里まつりは地域を挙げての夏祭りとしてすっかり定着しています。開会式に続き、舞台ではジャズバンド・リトルスパイスの演奏、そして、毎年出演している喜茂別和太鼓クラブと喜茂別民謡同好会が登場し、最後はビンゴ大会です。喜茂別ライオンズクラブ提供のニンテンドーWiiを見事射止めた小さなお嬢さんに、会場から大きな拍手とため息が流れました。



## 8/7(土)発寒商店街のイベントに参加し、交流と連携を深める

今年の5月から交流を深めてきた発寒商店街主催のイベント「夏だ!ぶらり発寒商店街」に、本町からもスタッフが参加しました。“空き店舗がさまざまなイベント会場に変身!”と言うコンセプトに沿って、名物あげイモや野菜、お菓子など本町の産物などを商店街の空き店舗で販売し、大好評で完売しました。また、喜茂別町の優待クーポン券付観光案内チラシを、商工会青年部や地域おこし協力隊が配りました。

